

大阪ガスとJR西日本、気象予測とデータサイエンスで協業。
湖西線に高精度な強風予測システムを試験導入。

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）と西日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：長谷川 一明、以下「JR 西日本」）は、JR 西日本湖西線沿線において、両社で共同開発した強風予測システムを試験導入します。

大阪ガスと JR 西日本は、2019 年より強風予測に関する共同研究を行ってきました。今回、大阪ガスの気象予測技術と、JR 西日本の AI 開発技術を掛け合わせることで、湖西線沿線において従来よりも高精度に強風予測ができるシステムを開発し、本日、湖西線沿線において試験導入を行うための契約を締結しました。

今後、湖西線で強風が見込まれる場合における列車運行の安全性の更なる向上、また運転規制（運転見合わせや徐行）時における代行輸送の確保やお客さまへの円滑な周知を目指し、本導入に向けて検証を進めてまいります。また、他の路線や鉄道会社への展開、道路関係事業者などの風により影響を受ける分野への展開も視野に入れていきます。

大阪ガスは、2008 年から独自手法による気象予測を開始し、AI の活用による精度向上にも取り組んでいます。2018 年には気象予報業務の許可を取得しており、本件はそれを活用したサービスの第一号案件です。

JR 西日本は、2017 年から本格的にデータサイエンスの取り組みを開始しました。2020 年には「データソリューション室」を設立し、データ分析や AI を用いた業務変革を進めています。

大阪ガスと JR 西日本は、お互いの強みを掛け合わせて生まれた強風予測システムの活用により、鉄道の安全性と利便性の向上に貢献してまいります。

1. 強風予測システムの概要

予測エリア	湖西線沿線（大津京駅～近江塩津駅周辺）
予測対象	風速・風向
システム概要	大阪ガスが行う高解像度気象予測の結果データを、JR 西日本が開発した AI モデルで解析し、24 時間先までの風速・風向を予測

<システム構成イメージ>



以上